

奈良国立 文化財研究所 要綱

I 組織規定

文部省組織令（抜粋）

昭和59年6月28日 政令第227号

第2章 文化庁

第3節 施設等機関

（施設等機関）

第108条 文化庁長官の所轄の下に、文化庁に国立国語研究所を置く。

2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。
（中略）

国立文化財研究所

（国立文化財研究所）

第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

- 2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。
- 3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は文部省令で定める。

文部省設置法施行規則（抜粋）

昭和28年1月13日 文部省令第2号

第5章 文化庁の施設等機関

第4節 国立文化財研究所

第1款 名称及び位置

（名称及び位置）

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東京都台東区
奈良国立文化財研究所	奈良県奈良市

第2款 奈良国立文化財研究所

（所長）

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は、所務を掌理する。

（内部組織）

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘

調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

（庶務部の分課及び事務）

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

一 庶務課

二 会計課

2 庶務課においては次の事務をつかさどる。

- 一 職員の人事に関する事務を処理すること。
- 二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。
- 三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。
- 四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。
- 五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警に関すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

3 会計課においては、次の事務をつかさどる。

- 一 予算に関する事務を処理すること。
- 二 経費及び収入の決算その他会計に関する事務を処理すること。
- 三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。
- 四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。
- 五 庁内の取締りに関すること。

第126条 削除

（建造物研究室等の事務）

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

（平城宮跡発掘調査部の六室及び事務）

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物（木簡を除く。）の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

（飛鳥藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務）

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に考古第一調査室、考古第二

調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

- 2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第5項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。
- 3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物（木簡を除く。）の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関連する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

- 2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。
- 3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。
 - 一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。
 - 二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。
 - 三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化財センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

- 一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。
- 二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的に研修を行うこと。
- 三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。
- 四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

- 2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の六室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

- 2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務（他の室の所掌に属するものを除く。）をつかさどる。
- 3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務（発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く。）をつかさどる。
- 4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。
- 5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。
- 6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。
- 7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

(客員研究員)

第139条 奈良国立文化財研究所に客員研究員を置くことができる。

- 2 客員研究員は、所長の命を受け、奈良国立文化財研究所において行う調査研究に参画する。
- 3 客員研究員は、非常勤とする。

改正

昭和43年6月15日 文部省令第20号/昭和45年4月17日 文部省令第11号/昭和48年4月12日 文部省令第6号/昭和49年4月11日 文部省令第10号/昭和50年4月2日 文部省令第13号/昭和51年5月10日 文部省令第16号/昭和52年4月18日 文部省令第10号/昭和53年4月5日 文部省令第19号/昭和53年9月9日 文部省令第33号/昭和55年4月5日 文部省令第14号/昭和55年6月25日 文部省令第23号/昭和58年10月1日 文部省令第25号/昭和59年6月30日 文部省令第37号/昭和63年4月8日 文部省令第13号

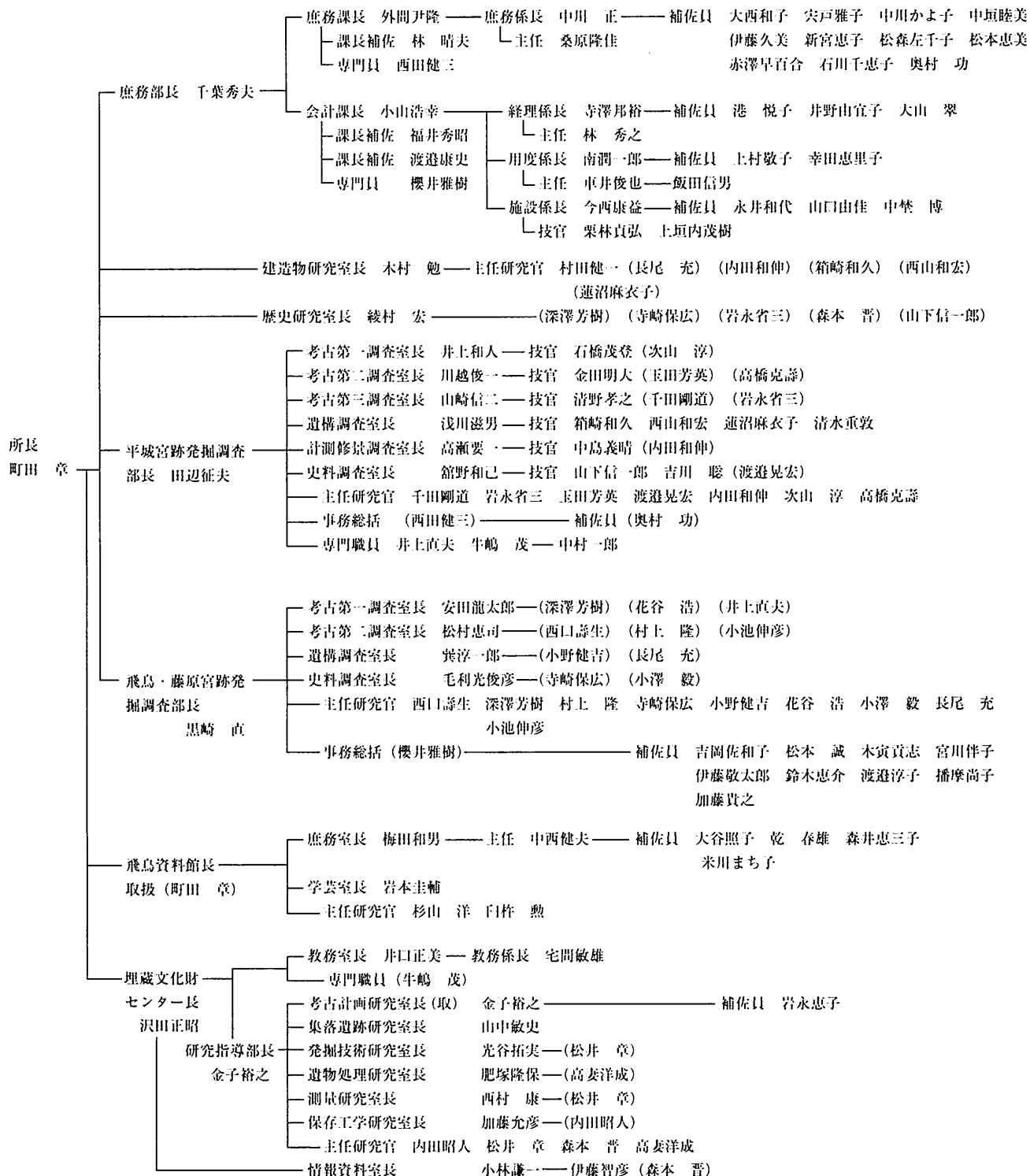
II 職員

定員

区分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1998年度	1	22	1	61	85
1999年度	1	22	0	61	84

現在の職員一覧 (1999. 8. 1現在)

(括弧は兼任・併任)



Ⅲ 施設 (1999. 3. 31現在)

土地

奈良国立文化財研究所所管	47,987㎡
本庁舎	8,860㎡
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	20,515㎡
飛鳥資料館	17,092㎡
飛鳥資料館宿舎	1,343㎡
重要文化財旧米谷家住宅	177㎡
文化庁所管 (関係分)	1,466,649㎡
平城宮跡地区	1,087,595㎡
藤原宮跡地区	374,013㎡
飛鳥稲淵宮殿跡地区	5,041㎡

建物

庁舎 36,667㎡

区分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	藤原宮跡	計
事務室	646	6201	197	108		1,152
研究・整理室	1,417	2,465	1,205	1,205		5,212
資料・図書室	1,021		383	131		1,535
会議室	338	9	129	49		525
講堂		538	210	132		880
展示室		925	254	1,361		2,540
写真室		411	149	78		638
復原建物		1,085				1,085
遺構展示室		1,563				1,563
車庫	84	608	352	94		1,138
倉庫・収蔵庫	133	7,418	2,979	696		11,226
研修棟	1,416					1,416
その他	1,666	2,342	1,669	1,606	36	7,319
計	6,721	17,565	7,527	4,380	36	36,229

宿舎等 重要文化財旧米谷家住宅 213㎡
飛鳥資料館宿舎 225㎡

Ⅳ これまでの刊行物 (括弧内は刊行年度)

奈良国立文化財研究所学報

- 第1冊 仏師運慶の研究 (1954)
- 第2冊 修学院離宮の復原的研究 (1954)
- 第3冊 文化史論叢 (1955)
- 第4冊 奈良時代僧房の研究 (1956)
- 第5冊 飛鳥寺発掘調査報告 (1957)
- 第6冊 中世庭園文化史 (1958)
- 第7冊 興福寺食堂発掘調査報告 (1958)
- 第8冊 文化史論叢 I (1959)
- 第9冊 川原寺発掘調査報告 (1959)
- 第10冊 平城宮跡第一次・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告 (1960)

- 第11冊 院の御所と御堂－院家建築の研究－ (1961)
- 第12冊 巧匠阿弥陀仏快慶 (1962)
- 第13冊 寝殿造系庭園の立地的考察 (1962)
- 第14冊 唐招提寺蔵「レース」と「金允舎利塔」に関する研究 (1962)
- 第15冊 平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査 (1962)
- 第16冊 平城宮発掘調査報告Ⅲ 内裏地域の調査 (1963)
- 第17冊 平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域の調査 (1965)
- 第18冊 小堀遠州の作事 (1965)
- 第19冊 藤原氏の氏寺とその院家 (1967)
- 第20冊 名物裂の成立 (1969)
- 第21冊 研究論集Ⅰ (1971)
- 第22冊 研究論集Ⅱ (1973)
- 第23冊 平城宮発掘調査報告Ⅵ 平城京左京一条三坊の調査 (1974)
- 第24冊 高山一町並調査報告－ (1974)
- 第25冊 平城京左京三条二坊 (1975)
- 第26冊 平城宮発掘調査報告Ⅶ (1975)
- 第27冊 飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ (1975)
- 第28冊 研究論集Ⅲ (1975)
- 第29冊 木曾奈良井一町並調査報告－ (1975)
- 第30冊 五條一町並調査の記録－ (1976)
- 第31冊 飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ (1977)
- 第32冊 研究論集Ⅳ (1977)
- 第33冊 イタリア中部の一山岳集落における民家調査報告 (1977)
- 第34冊 平城宮発掘調査報告Ⅸ (1977)
- 第35冊 研究論集Ⅴ (1978)
- 第36冊 平城宮整備調査報告Ⅰ (1978)
- 第37冊 飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ (1979)
- 第38冊 研究論集Ⅵ (1979)
- 第39冊 平城宮発掘調査報告Ⅹ (1980)
- 第40冊 平城宮発掘調査報告ⅩⅠ (1981)
- 第41冊 研究論集Ⅶ (1984)
- 第42冊 平城宮発掘調査報告ⅩⅡ (1984)
- 第43冊 日本における近世民家 (農家) の系統的発展 (1984)
- 第44冊 平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告 (1985)
- 第45冊 薬師寺発掘調査報告 (1986)
- 第46冊 平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告書 (1988)
- 第47冊 研究論集Ⅷ (1988)
- 第48冊 年輪に歴史を読む－日本における古年輪学の成立－ (1990)
- 第49冊 研究論集Ⅸ (1990)
- 第50冊 平城宮跡発掘調査報告書ⅩⅢ (1990)
- 第51冊 平城宮跡発掘調査報告書ⅩⅣ (1992)
- 第52冊 西隆寺発掘調査報告書 (1992)
- 第53冊 平城宮朱雀門の復原的研究 (1993)
- 第54冊 平城京左京二条二坊・三条二坊－長屋王邸・藤原麻呂邸－発掘調査報告 (1994)
- 第55冊 飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅳ－飛鳥水落遺跡の調査－ (1994)
- 第56冊 平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告 (1997)
- 第57冊 日本の信仰遺跡 (1998)

奈良国立文化財研究所史料

- 第1冊 南無阿弥陀仏作善集(複製)(1954)
- 第2冊 西大寺叡尊伝記集成(1955)
- 第3冊 仁和寺史料 寺誌編1(1963)
- 第4冊 俊乗坊重源史料集成(1964)
- 第5冊 平城宮木簡1 図版(1966)
- 第6冊 仁和寺史料 寺誌編2(1967)
- 第5冊 平城宮木簡1 解説(別冊)(1969)
- 第7冊 唐招提寺史料1(1970)
- 第8冊 平城宮木簡2 図版・解説(1974)
- 第9冊 日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ(1974)
- 第10冊 日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ(1975)
- 第11冊 日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ(1976)
- 第12冊 藤原宮木簡1 図版・解説(1977)
- 第13冊 日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ(1977)
- 第14冊 日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ(1978)
- 第15冊 東大寺文書目録第1巻(1978)
- 第16冊 日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ(1979)
- 第17冊 平城宮木簡3 図版・解説(1979)
- 第18冊 藤原宮木簡2 図版・解説(1979)
- 第19冊 東大寺文書目録第2巻(1979)
- 第20冊 日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ(1980)
- 第21冊 東大寺文書目録第3巻(1980)
- 第22冊 七大寺巡礼私記(1981)
- 第23冊 東大寺文書目録第4巻(1981)
- 第24冊 東大寺文書目録第5巻(1982)
- 第25冊 平城宮出土墨書土器集成Ⅰ(1982)
- 第26冊 東大寺文書目録第6巻(1983)
- 第27冊 木器集成図録-近畿古代編-(1984)
- 第28冊 平城宮木簡4 図版・解説(1985)
- 第29冊 興福寺典籍文書目録第1巻(1985)
- 第30冊 山内清男考古資料1(1988)
- 第31冊 平城宮出土墨書土器集成Ⅱ(1988)
- 第32冊 山内清男考古資料2(1989)
- 第33冊 山内清男考古資料3(1991)
- 第34冊 山内清男考古資料4(1991)
- 第35冊 山内清男考古資料5(1991)
- 第36冊 木器集成図録-近畿原始編-(1992)
- 第37冊 梵鐘実測図集成(上)(1992)
- 第38冊 梵鐘実測図集成(下)(1993)
- 第39冊 山内清男考古資料6(1993)
- 第40冊 山田寺出土建築部材集成(1994)
- 第41冊 平城京木簡一(1994)
- 第42冊 平城宮木簡五(1995)
- 第43冊 山内清男考古資料7(1995)
- 第44冊 興福寺典籍文書目録第二巻(1995)
- 第45冊 北浦定政関係資料(1996)
- 第46冊 山内清男考古資料8(1996)
- 第47冊 北魏洛陽永寧寺(1997)
- 第48冊 発掘庭園資料(1997)

奈良国立文化財研究所基準資料

- 第1冊 瓦編1 解説(1973)
- 第2冊 瓦編2 解説(1974)

- 第3冊 瓦編3(1975)
- 第4冊 瓦編4(1976)
- 第5冊 瓦編5(1976)
- 第6冊 瓦編6(1978)
- 第7冊 瓦編7(1979)
- 第8冊 瓦編8(1980)
- 第9冊 瓦編9(1983)

飛鳥資料館図録

- 第1冊 飛鳥白鳳の在銘金銅仏(1976)
- 第2冊 飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇(1976)
- 第3冊 日本古代の墓誌(1977)
- 第4冊 日本古代の墓誌 銘文篇(1978)
- 第5冊 古代の誕生仏(1978)
- 第6冊 飛鳥時代の古墳-高松塚とその周辺-(1979)
- 第7冊 日本古代の鷗尾(1980)
- 第8冊 山田寺展(1981)
- 第9冊 高松塚拾年(1982)
- 第10冊 渡来人の寺-椋眼寺と坂田寺-(1983)
- 第11冊 飛鳥の水時計(1983)
- 第12冊 小建築の世界-埴輪から瓦塔まで-(1983)
- 第13冊 藤原-半世紀にわたる調査と研究-(1984)
- 第14冊 日本と韓国の塑像(1985)
- 第15冊 飛鳥寺(1985)
- 第16冊 飛鳥の石造物(1986)
- 第17冊 萬葉乃衣食住(1987)
- 第18冊 壬申の乱(1987)
- 第19冊 古墳を科学する(1988)
- 第20冊 聖徳太子の世界(1988)
- 第21冊 仏舍利埋納(1989)
- 第22冊 法隆寺金堂壁画飛天(1989)
- 第23冊 日本書紀を掘る(1990)
- 第24冊 飛鳥時代の埋蔵文化財に関する一考察(1991)
- 第25冊 飛鳥の源流(1991)
- 第26冊 飛鳥の工房(1992)
- 第27冊 古代の形(1994)
- 第28冊 蘇我三代(1995)
- 第29冊 斉明紀(1996)
- 第30冊 遺跡を測る(1997)
- 第31冊 それからの飛鳥(1998)
- 第32冊 歌枕展図録(1998)
- 第33冊 幻のおおでら-百濟大寺展図録(1998)

飛鳥資料館カタログ

- 第1冊 仏教伝来飛鳥への道(1975)
- 第2冊 飛鳥の寺院遺跡1-最近の出土品-(1975)
- 第3冊 飛鳥の仏像(1978)
- 第4冊 桜井の仏像(1979)
- 第5冊 高取の仏像(1980)
- 第6冊 槻原の仏像(1981)
- 第7冊 飛鳥の王陵(1982)
- 第8冊 大官大寺-飛鳥最大の寺-(1985)
- 第9冊 高松塚の新研究(1992)
- 第10冊 飛鳥の一と-最近の調査から-(1994)
- 第11冊 山田寺(1997)
- 第12冊 山田寺東回廊再現(1997)

V 1998年度の動向

予 算	(千円)
人件費	758,559
運営費	1,180,823
事業管理	10,845
一般研究	67,391
特別研究	213,609
発掘調査	574,593
宮跡整備管理	112,253
飛鳥資料館運営	52,251
埋蔵文化財センター運営	73,463
本庁舎維持管理等経費	52,941
飛鳥藤原宮跡発掘調査部運営	23,477
施設費	736,385
平城宮跡等整備費	721,942
各所修繕費	14,443
合 計	2,675,767

主要工事	(千円)
(1) 平城宮跡地等整備費	
平城宮跡朱雀門南面大垣復原等工事	153,195
平城宮跡東院周辺整備平成10年度工事	111,720
平城宮跡東院地区外周柵整備工事	20,160
平城宮跡東院進入路舗装等工事	5,040
藤原宮跡環境整備平成10年度工事	37,380
藤原宮跡損害木処理工事	4,200
(2) 庁費	
平城宮跡第1キュービクル改修工事	2,478
(3) その他(各所修繕費)	
飛鳥資料館公共下水道接続工事	6,825

協力事業等

文化庁では、1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており、1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当している。

1998年度の状況は下記のとおりである。

区 分	面 積 (㎡)	金 額 (円)
1998年度	5,202.90	235,903,553
国有地合計	372,069.63	9,029,453,263

人事異動 (1998. 4. 1～1999. 3. 31)

4月1日
平城宮跡発掘調査部長に昇任 田辺 征夫

飛鳥藤原宮跡発掘調査部長に昇任 黒崎 直
平城宮跡発掘調査部考古第一調査室長に昇任 井上 和人
平城宮跡発掘調査部遺構調査室長に昇任 浅川 滋男
庶務部会計課長に昇任 小山 浩幸
庶務部庶務課課長補佐に昇任 麻田 茂
庶務部庶務課庶務係庶務主任に昇任 桑原 隆佳
平城宮跡発掘調査部考古第二調査室に転任 高橋 克壽
庶務部会計課用度係長に転任 南 潤一郎
埋蔵文化財センター情報資料室に転任 伊藤 智彦
埋蔵文化財センター情報資料室長に配置換 小林 謙一
平城宮跡発掘調査部主任研究官に配置換 千田 剛道
飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に配置換 小野 健吉
飛鳥資料館主任研究官に配置換 臼杵 勲
平城宮跡発掘調査部考古第一調査室に配置換 次山 淳
飛鳥藤原宮跡発掘調査部考古第一調査室長に採用 安田龍太郎
平城宮跡発掘調査部考古第一調査室に採用 石橋 茂登
事務補佐員(庶務部庶務課)に採用 松森左千子
事務補佐員(庶務部庶務課)に採用 松本 恵美
技術補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査部)に採用 中村 一郎
研究補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査部)に採用 渡邊 淳子
研究補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査部)に採用 田福 涼
文化庁文化財保護部文化財鑑査官に転出 町田 章
名古屋大学附属図書館に転出 奥村小百合
徳島大学経理部経理課長に転出 倉橋 陸雄
富山商船高等専門学校学生課長に転出 野木 正博
大阪大学経理部情報処理課専門職員に転出 中嶋 昌士
京都大学医学部附属病院総務課庶務掛主任に配置換 八木 清隆

7月1日

平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 内田 和伸
平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 加藤 真二
平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 次山 淳
飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 長尾 充

8月31日

辞職 中元裕美子

9月16日

事務補佐員(庶務部会計課)に採用 藤崎 憲子

3月24日

辞職 藤崎 憲子

3月30日

退職 福本 良子

退職 水戸部秀樹

退職 田福 涼

退職 中村 一郎

3月31日

辞職 田中 琢

退職 佃 幹雄

刊行物

年報 1998-I

年報 1998-II

年報 1998-III

古代の稲倉と村落・郷里の支配

平城宮発掘調査出土木簡概報 (34)

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報 (13)

アンコール文化遺産保護共同研究報告書II

発掘庭園資料一覧 別冊

藤原京研究資料 (1998)

第1回瓦研究会記録

第3回瓦研究会記録

埋蔵文化財ニュース89号

埋蔵文化財ニュース90号

埋蔵文化財ニュース91号

埋蔵文化財ニュース92号

平城宮跡資料館・遺構展示館・東院庭園見学者

区分	平城宮跡資料館	遺構展示館	東院庭園	計
1998年度	120,720	80,796	130,798	332,314
累計	1,662,943	1,967,100	130,798	3,760,841

資料館は1970年度、遺構展示館は1963年度、東院庭園は1998年度以降の累計

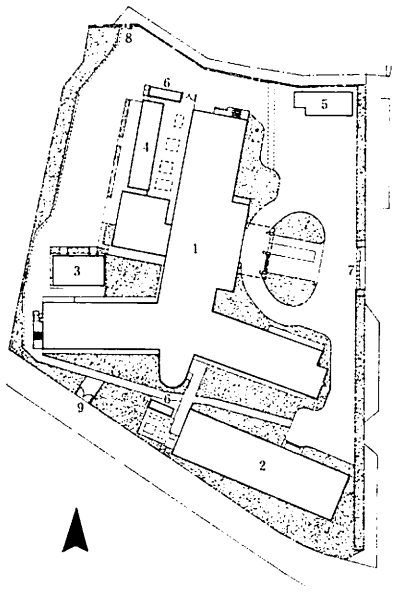
図書・写真資料

図書：180,128冊

(1999. 3. 31現在)

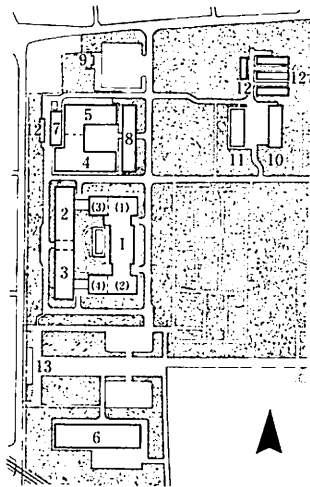
区分	種別	購入	寄贈	計
1998年度	和漢書	1,961	5,229	7,190
	洋書	112	35	147
累計	和漢書	61,848	110,040	171,888
	洋書	6,220	2,020	8,240

写真：651,624 (1998年度末)



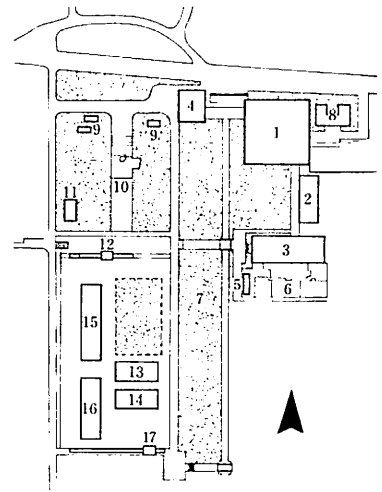
本館配置図

- 1 本館
- 1階 庶務部及び図書資料室
- 2階 所長室及び平城宮跡発掘調査部
- 3階 建造物研究室、歴史研究室及び埋蔵文化財センター
- 2 埋蔵文化財センター研修棟 3 研修棟
- 4 機械棟 5 車庫 6 自転車置場
- 7 正門 8 通用門 9 非常口



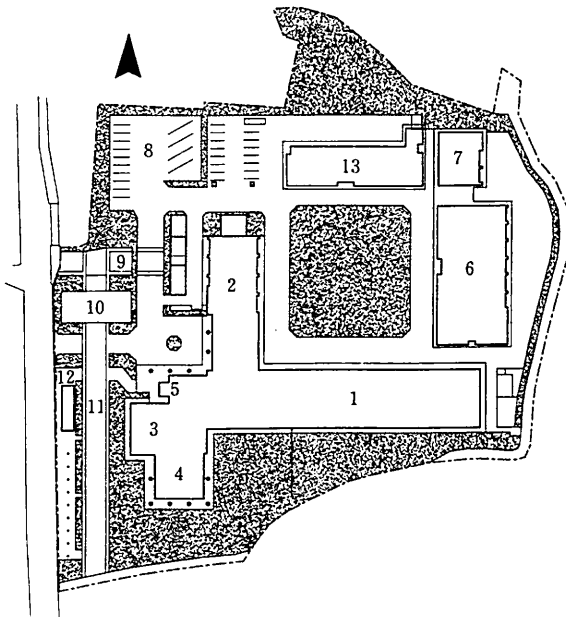
平城宮跡資料館配置図

- 1 平城宮跡資料館
- (1) 展示室 (3) 準備室
- (2) 講堂 (4) 小講堂
- 2 第1収蔵庫
- 3 第2収蔵庫
- 4 第3収蔵庫
- 5 第4収蔵庫
- 6 第5収蔵庫
- 7 大型遺物処理棟
- 8 遺物解析処理棟
- 9 便所
- 10 整備棟
- 11 資材保管加工棟
- 12 発掘技術資料棟
- 13 佐伯門跡



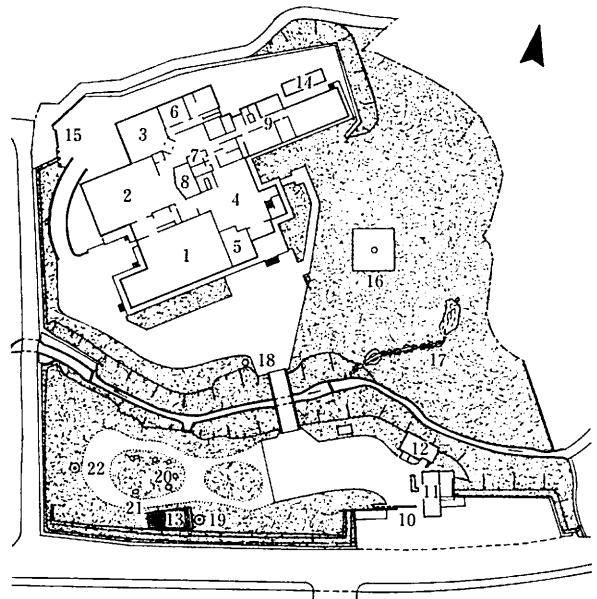
平城宮跡遺構展示館配置図

- 1 遺構展示館 2 展示館
- 3 遺構展示館 4 管理棟
- 5 築地塀復原 6 埴積基壇復原
- 7 東大溝復原 8 便所
- 9 パーゴラ 10 案内広場
- 11 防災設備室
- 12 宮内省北門・築地塀復原
- 13 宮内省復原建物(南殿)
- 14 宮内省復原建物(南殿第2殿)
- 15 宮内省復原建物(西北殿)
- 16 宮内省復原建物(西南殿)
- 17 宮内省南門・築地塀復原



飛鳥藤原宮跡発掘調査部配置図

- 1 整備研究棟 2 管理棟
- 3 展示室 4 講堂
- 5 入口 6 第1収蔵庫
- 7 遺物処理棟 8 駐車場
- 9 六条条間路跡 10 建物跡
- 11 東三坊間路跡 12 自転車置場
- 13 第2収蔵庫



飛鳥資料館配置図

- 1 第1展示室 2 第2展示室 3 講堂
- 4 ロビー 5 閲覧室・売店 6 会議室
- 7 便所 8 光庭 9 管理棟
- 10 正門 11 売札所 12 屋外展示解説室
- 13 パーゴラ 14 機械室 15 通用門
- 16 須弥山石 17 石船石 18 石人像
- 19 山田寺塔心礎 20 猿石 21 入頭石
- 22 法輪寺塔心礎